



二輪草だより

平成30年2月号
発行:二輪草センター

センターの活動予定 ◆3月5～9日 看護師と助産師のための復職支援研修開催
下旬 二輪草プラン推進委員会議 二輪草だより3月号発行

第29回 二輪草セミナー終了報告

二輪草センター助教 菅野 恭子

2017年12月25日に第29回二輪草セミナーが開催されました。アメリカでご活躍されている12期の佐竹典子先生が『アメリカで臨床医として研究をするということ』と題して自身の研究についてのご講演頂きました。佐竹先生は卒業後日本で研修と研究をした後、1997年よりポスドクとしてアメリカへ渡り、臨床研修をやり直し、UCLAのクリニカルフェローを経て2015年よりUC Davisのassociated professorとして臨床と研究を行われています。現在ポスドクを募集中とのことで今回ご自身の研究の内容の紹介がありました。現在小児癌の中で急性リンパ性白血病とneuroblastomaについて研究されており、化学療法後の内分泌や骨の異常、2次癌等の後遺症についての問題点を指摘されました。なかでもcancer stem cellに着目し、どういふ遺伝子が表現されているのか、リンクRNAについて、グルコースを取り込まないstem cellの存在についてお話しされました。また、癌だけを攻撃できるターゲット療法についても研究され、より毒性の強い化学療法を減らせるのではないかと、抗体を用いて新たな混合療法が出来ないかを考えているそうです。研究の傍らズンバのインストラクターの資格をお持ちで、講演の最後にズンバのレッスンもありました。会場からの質疑応答ではアメリカで研究する事のメリット・デメリットについては、どこのラボないし誰のラボに行くのかは自分が何をしたいかによって違うとのことでした。Clinical trialはアメリカが有利ですがテクニックは何処も同じとのことでした。研究テーマの変遷については自分のやりたいことを続けていけるのがベストだがそれは大変な事で、テーマが変わってもそのときに行ったテクニックや考え方は無駄にはならないそうです。トランプ政権になってグリーンカードやグラントがとりにくくなったのではないかとこの質問には日本で講演をしているとビザがおりないなどいろいろ大変な話を耳にするがどうすれば良いのかわからないのが現状とのことでした。今回の参加者は学生3名、職員22名でした。佐竹先生、お忙しい中貴重なご講演を頂き誠にありがとうございました。



冬休みキッズスクール 終了報告

平成30年1月4・5日の二日間、第20回冬休みキッズスクールを開催し総勢30名の子ども達が参加しました。

開校式で校長先生のお話を聞いてから、いよいよキッズスクールの始まりです！

第一日目の最初のプログラムは「作ってあそぼ！」で、羽子板作りを行いました。無地の木の羽子板をポスカやマジックで色を塗り、フェルトやスパンコール、シールやテープなどで装飾します。1年生から6年生まで、学校も学年も違う子ども達が作る作品はどれも個性が光り、素敵な羽子板が出来ました。

昼食はお楽しみの学食です！ドキドキのセルフサービスですが、お兄さん・お姉さんに手伝ってもらいながら、ちょっとした大学生気分を味わって大満足の子も達でした。

午後の最初のプログラムは学生ボランティアによる特別授業です。「細胞について」と「顕微鏡の使い方」を図に書いて解りやすく、時にユーモラスに教えてくれました。またお正月にちなんで「おせちクイズ」で楽しい時間を過ごしました。その後は「看護学科棟を探検しよう！」で、看護学講座の升田由美子教授のご案内で看護学科の実習室や講義室、教授室などを見学しました。普段は見られない実習室や講義室に興味津々で、将来「医大に入りたい！」と憧れを持った子も多かったようです。最後は作った羽子板を持って、体育館で羽根突きをしました。初体験の子が多くコツをつかむまで大変そうでしたが、体育館にはコン！コン！と羽を突くいい音と子ども達の楽しそうな歓声が響いていました。



第二日目は「細胞ってなんだろう？～顕微鏡でみる小さな世界～」と題する特別授業から始まりました。講師は病理学講座・腫瘍病理分野の山本雅大先生です。病理医という仕事について「びょうり」という言葉を覚えるゲームから始まったので、子ども達は大喜び！また、PCのバーチャル顕微鏡で健康な細胞と病気の細胞を比較して間違い探しをしたり、電子顕微鏡で色々な細胞をのぞいたり・・・ゲームやクイズが盛りだくさんで楽しく学ぶことが出来ました。その後はチョコランチ作りです。それぞれの係に分かれ、コーンフレークやビスケットを砕いて、チョコを湯煎で溶かしたところに混ぜていきます。あとはカップに入れて午後のおやつまで冷やせば完成です！

午後からは雪中運動会です。細かい雪が降りしきる中、子ども達は元気いっぱい！全身雪だらけになって楽しんでいました。その後、美味しいチョコランチを食べ、閉校式で校長先生に終了証をもらって二日間のキッズスクールは終了しました。

今回も学生ボランティアの皆さんには大変お世話になりました。総勢20名以上の学生が参加して下さいました。いつも準備や片付けに積極的に参加して下さい、子ども達とも真摯に向き合い活動して下さることに心より感謝致します。

また、藤井智子教授をはじめ、いつも快く開催場所をお貸し下さる看護学講座の諸先生方、ご理解・ご協力を頂いております各部署の皆様にも心よりお礼申し上げます。



病児一時預かり室、バックアップナース、病児・病後児保育室、カウンセリング相談 【1月20日～2月19日までの利用状況】

病児一時預かり室	依頼回数	2回	利用回数	2回
バックアップナース	依頼回数	21回	稼働回数	21回
病児・病後児保育室	依頼回数	25回	利用回数	17回
カウンセリング相談			利用回数	4回

* 病児一時預り室、病児・病後児保育室は全職員・学生がご利用になれます

【お問い合わせ先】 旭川医科大学 二輪草センター(復職・子育て・介護支援センター)

〒078-8510 北海道旭川市緑が丘東2条1丁目1-1

TEL 0166-69-3240(内線3240) サンニンヨレ FAX 0166-69-3249

開設時間8時30分～17時15分 E-mail: nirinsou@asahikawa-med.ac.jp

ホームページ <http://www.asahikawa-med.ac.jp/hospital/nirinsou/>

